

もりゆうど

2008年10周年記念号

特定非営利活動法人
ウッディ阿賀の会

Vol. 12

発行日 2008年9月1日



名知阿実庵の篝火（かがりび）

区切りの年を迎えて

早いものでウッディ阿賀の会が発足して10年になろうとしています。思い起こせば新潟林業事務所・山元・中間の製材業者・川下の工務店の人達とで県産杉材普及のため会議をし杉林を見たとき、山元の高齢化や後継者不足で手入れのされていない杉林にがく然としました。

山の手入れをするにはどうすればよいか相談の結果、ボランティア会を作り都市部の人達に山を知ってもらい、山の手入れを手伝ってもらうことができれば山林も良くなるのではとなりました。

林業事務所が事務局となり土地主を見つけ、私は都市部の人達が興味を持って参加できる企画は何かを考え、杉林の間伐を行いその材を使って山小屋（ログハウス）を造る企画となりました。企画は好評で、新潟市内の人はもとより中越地区の人達も参加され、沢山の人達がうまく活動し始めました。

その後事務局を林業事務所から当会が引継ぎ、地道な活動を続けているうちに法人化の声を受けNPO法人ウッディ阿賀の会と発展しました。数ある山林ボランティアの中でも機動力があり地道に活動をしていることは自他共に認めるところであります。

当初の企画は土地主と私たちボランティアと思惑の違いが見え始め、完成まで4年を要したログハウスも今は誰も行く人はありません。

現在の活動は、西海岸公園の整備、三川の里山整備、にいがた緑の百年物語からの要請によるイベントへの参加等幅広く活動をしています。今後も会員全員で楽しみながら無理をせず、大きなケガも無く活動が発展することを祈っております。

（代表理事：込田 幸吉）

EntryNo.1

- A: 荒川やセ峰の地帯
- B: 暑い中での荒川の地帯
- C: 倒した杉に乗っかり背中から落ちた
- D: このあたりがわからな〜い



EntryNo.2

- A: 初めてチェーンソーを使い感動
- B: まだ辛い目にあっていない
- C: まだ危ない目にもあっていない
- D: まずは定例活動に参加するのが第一歩



EntryNo.3

- A: 作業で汗をかきこじがとって清々しい
- B: 特になし
- C: チェンソーで長靴をチョットこすった
- D: 間伐を集中的にやっていったら

EntryNo.4

- A: ログの完成と焚き火を囲んでの大騒ぎ
- B: ログ材の杉を人力で運んだこと
- C: 活動日に急ぐあまり接触事故をおこした
- D: 野宿会の復活



無から生み出すアート▶
チェーンソーカービング

EntryNo.5

- A: 災害ボラで被災者の手助けが出来たこと
- B: きつい、辛い一歩手前でストップしている
- C: 己の安全確保がない会員との活動全て
- D: 里山整備と冒険基地づくり



捕まえた蛇をワイルドに調理
みんなの腹に納まりました

活動10周年を迎えてのアンケート

これまでの活動での思い出や感じたこと、希望についてアンケートを実施しました。
それぞれの会員の本音が見え隠れ？

- A: 一番楽しかったこと、思い出に残っていることは何ですか？
- B: 一番きつかったこと、辛かったことは何ですか？
- C: 一番危なかったことは何ですか？
- D: これから一番やってみたいこと、取り入れたいことは何ですか？

それぞれの回答と昔の写真から、誰なのかを推理してください。
エントリーNo.と会員名をご記入の上事務局までご応募ください。
高得点の方には豪華景品を用意いたします。

※アンケートへの回答及び写真提供のあった会員を掲載しています。



某所にて特大舞茸を発見
参加者はご相伴に・・・

EntryNo.6

- A: 杉の枝を敷き詰めた野宿
- B: 暑い中での荒川の地帯
- C: ニセアカシアの掛かり木処理
- D: 子供達との山遊び



西海岸公園に立つ2本の看板
植樹した松はかなり育ちました

EntryNo.8

- A: 暑い日の荒川での下草刈り
- B: 荒川の作業で参加者が少なかったこと
- C: 特になし
- D: 年でするので皆さんについていだけ

EntryNo.7

- A: ログづくりと火の周りでタラフク飲んだこと
- B: ログの人海戦術による丸太運び
- C: ケムシ、ヒル、ウルシで皮膚をやられた
- D: 伐採木の有効活用



EntryNo.9

- A: 荒川の作業と昼の冷たいカンビール
- B: 荒川の急斜面を機材を担いでの移動
- C: チェンソーで服を切ったが肉はセーフ
- D: 荒廃した里山の再生



初期ログハウスの途中の様子。壁積上げの後期

EntryNo.10

- A: 焚き火を囲んだ泊まり込み
- B: 特になし
- C: 特になし
- D: 炭焼きや子供達と森の木遊び



今みなが集まる憩いの場所。三川の名知阿実庵

EntryNo.11

- A: 木と接する機会が増えたこと
- B: 雪中車が動かなくなった
- C: 大腿部損傷でムスコが危うかったこと
- D: 森といわず林を作りたい

EntryNo.12

- A: 良い汗を出し皆と歓談ができること
- B: 体を動かす事が好きなので辛さはなし
- C: 特になし
- D: 現在の活動で充分



EntryNo.13

- A: 2006年の三川での親木祭
- B: 安田の活動での間伐材運び出し作業
- C: 高所からの転落で手首を骨折したこと
- D: 木の伐採と間伐



EntryNo.14

- A: ログづくりと現地での野営
- B: ログの丸太運びとスズメ蜂に刺されたこと
- C: 谷廻りをしながら山奥まで行った山菜採り
- D: 自然木を使った本格的な木工作品づくり

EntryNo.15

- A: 特になし
- B: 特になし
- C: 特になし
- D: 間伐材の利用

中越沖地震災害復旧へ出動 2007年7,8月



柏崎市西山町五日市地区などへ災害復旧ボランティアのべ5日間出動しました。

車両乗入れ規制のためバスでの参加となり、機材の搬入に苦労したものの、倒木の処理など当会の特色を生かした作業ができました。

にいがた海の森の集いへ参加



2007年9月22日青山海岸にて行われた海の森の集いに参加しました。

当会は明倫短期大学近くの松林の整備を行いました。

海づくり守り人フェスタへ参加



2007年9月24日トキメッセにて海づくり守り人フェスタに参加しました。

活動内容のパネルやカービングとつる細工・木工品を展示しました。また、木工教室を実施し50組用意しましたが12時前には予約で完売する盛況ぶりでした。

間伐材の切り出しと木工教室



2008年7月12日 胎内の青少年の森にて、9月9・10日に行われる第28回全国豊かな海づくり大会にて使用する杉の間伐作業をしました。間伐見学に参加した太夫浜小学校のみなさんと、ネーチャーゲームや木工教室で楽しい時間をすごしました。

編集後記

節目の年です。自身よく続いたと思います。この10年でつながりも広がり、経験も積むことが出来ました。これからも自分の出来ることで役に立てるよう、怪我無く健康でやってゆきたいと思います。[yama]

奇数月第2水曜日午後6:30から事務局で運営会議を開催しています。会員各位はぜひご出席ください。

入会案内

山に入ってみたいと思っている方、都合の良い日にあわせて、ぜひ遊びに来てください。めぐり行く季節の中で気持ちの良い汗を流してみませんか？

設立年 : 平成10年10月21日
法人設立 : 平成14年 2月 1日
会員数 : 個人35人(平成20年現在)
活動日 : 毎月第2、4の土曜
年会費 : 3,000円
準会員 : 2,000円(学生・子供)
賛助会員 : 一口5,000円(2口以上)

NPO法人 ウッディ阿賀の会



特定非営利活動法人
ウッディ阿賀の会

事務局
950-0994
TEL(025)243-2870
FAX(025)243-2846

株式会社 アーバンプランニング内 江添
新潟市上所1丁目1番12号
E-mail: woodyaga@par.odn.ne.jp
URL: http://www.woodyaga.com/